



KASUGAI50

春日井市制50周年記念

春日井 第九演奏会

指揮

石丸 寛

ソプラノ

宇佐美瑠璃

アルト

郡 愛子

テノール

福井 敬

バリトン

クラウス オッカー

管弦楽

春日井市交響楽団

合唱

Xmasの夕べ第九合唱団

平成5年12月5日(日) 15時開演 / 春日井市総合体育館

主催：Xmasの夕べ実行委員会・春日井市制施行50周年記念行事実行委員会・春日井市・春日井市教育委員会

後援：中部大学・中部大学女子短期大学・中日新聞本社



春日井市制施行50周年記念行事
「Xmasの夕べ」実行委員会会長

春日井市長 鵜飼 一郎

本日は、「春日井第九演奏会」によるこそお越しくございました。
春日井市制施行50周年にあたりまして、『まちも 暮らしも ころも ヘルシー —— 春日井50』をテーマに本年4月から実施してまいりました記念行事もいよいよフィナーレを迎えました。

数々の記念行事を通して、春日井のまちを再認識していただくとともに、さらに暮らしやすく、魅力のあるまちづくりを目指してまいりました。

本日のコンサートは、これら一連の記念行事の最終章を飾るウインターイベントとして、市民のみなさんとともに次なる100年への出発を確かめ合い、喜び合うイベントとして企画されたものであります。

音楽史上、最高傑作といわれ人類の平和と愛を高らかに歌いあげるベートーヴェンの交響曲第九番は、春日井市の新たな門出を祝福するのに最もふさわしいといえましょう。

それでは、石丸寛さんを指揮者にお迎えし、春日井市交響楽団とXmasの夕べ第九合唱団のみなさんによる春日井市で初の第九の調べをじっくりお楽しみください。



春日井市制施行50周年記念行事
実行委員会副会長

春日井市議会議長 長 縄 代 蔵

春日井市制施行50周年を記念して「春日井第九演奏会」が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

この演奏会は春日井市民の手作りによる初めての試みですが、この日のために練習された成果を充分発揮していただきたいと思えます。

本日は素晴らしい演奏をお聴きいただき、楽しい音楽のひとときをお過ごしください。

終わりに、本日素晴らしい曲を奏でていただく春日井市交響楽団、Xmasの夕べ第九合唱団はじめ関係者の皆様のご活躍をご祈念申し上げます、お祝いのことばいたします。



春日井市交響楽団会長

中部大学長 山 田 和 夫

《春日井の第九》演奏会、おめでとうございます。初めて作られた大合唱団から春日井市交響楽団にはじまり、たくさんの春日井市民が参加しての盛大な《第九》となりました。春日井を愛し、交響楽団と共に音楽を愛する私には二重の喜びです。

ベートーヴェンの9つの交響曲はすべてウィーンで初演されました。ベートーヴェンの交響曲を聴くとき、私はいつもそれを生んだウィーンを思い出します。そこでは、どの家にも、どの路地にも、貴族の館にも、宮廷にも、レストランにも、教会にも、それにふさわしい音楽と文化がありました。

そんなウィーンの文化的環境が彼の交響曲を生んだのであるならば、この光り輝く《春日井の第九》は、いまの春日井の文化的環境が生んだ黄金の果実です。

大きく立派に実った春日井文化の「新しい遺産」を、それを育てはぐくんだみなさまに感謝しながら、私も一緒に、まるごとガブリと楽しみたいと思います。

ルートヴィヒ・ファン・ベートーヴェン作曲
LUDWIG VAN BEETHOVEN (1770-1827)

交響曲第9番 二短調 作品125 「合唱つき」

- 第一楽章 アレグロ マノン トロッポ, ウン ポコ マエストーソ
Allegro ma non troppo, un poco maestoso
- 第二楽章 モルト ヴィヴァーチェ
Molto vivace
- 第三楽章 アダージョ モルト エ カンタービレ — アンダンテ モデラート — アダージョ
Adagio molto e cantabile — Andante Moderato — Adagio
- 第四楽章 フィナーレ, プレスト — アレグロ アッサイ
Finale, Presto — Allegro assai

- 指揮 石丸 寛
- 独唱 ソプラノ 宇佐美瑠璃 アルト 郡 愛子
テノール 福井 敬 バリトン クラウス オッカー
- 管弦楽 春日井市交響楽団
- 合唱 Xmasの夕べ第九合唱団

歓喜の歌

ああ、私の友人たちよ、このような調べではないのだ！
私たちをもっと楽しくさせ、
そして喜びにみちた調べを歌おうではないか！
(ベートーヴェン)

喜びよ、あなたは私たちの心をどろどろに溶かし
一つに結び付ける美しい神々の火花だ
あなたは平和な楽園からやってきた乙女だ
天国から来た者よ、
私たちはあなたの喜びに火のように酔って
みんなであなたの神殿に昇るのだ

喜びの魔力は、時の流れが、
戦争や飢餓や疫病で厳しく分けへだてた私たちを
再び友人として一つに結びつける
すべての人々よ、喜びの優しい翼が広がる下で
兄弟になろうではないか

抱き合おう、百万の人たちよ！
この愛の口づけを全世界に贈ろうではないか！

星空の上には
私たちを愛する偉大な父がずっと住んでいるに違いない
なぜなら
あなたは、一人の友の友となる大いなるサイコロの一振り
にきっと成功するだろうからだ
あなたは、きっと一人の優しい女性を勝ち得るだろうからだ
さあ、みんなでこの喜びの声に唱和しよう
そうとも
この地上でただ一人でも自分のものだと言える人は
大声で唱和しよう

そしてそれができなかった人は
一人泣きながらこの仲間から静かに去っていくがいい

この世のすべての善い人たちも
この世のすべての悪しき人たちも
すべての生き物は
薔薇の花びらが撒かれた歓喜の道をたどりながら
自然の乳房に触れて喜びを飲む

歓喜は私たちに甘いキスとブドウ酒だけではなく
死ぬような辛酸をなめた友を
「彼を救え！」と与えてくれる

精神的な歓喜とは異なり
この世の、肉体的で物質的なありとあらゆる快楽は
ウジ虫のような人たちに与えられる

愛の天使ケルビムは
私たちのために、いま、神の前に立っている！
あなたたちはひざまづいているか、百万の友よ？
あなたたちは私たちを生んだ創造主を予感しているか
世界の人々よ？
星の天幕の上に創造主を探し求めよう！
星空のかなたに、彼は住んでいるに違いない

私たちの創造主である太陽が
天のきらびやかな公道を通して
喜びながら宇宙を動くように
兄弟たちよ、進みなさい

あなたの定められた道を、勝利に向かう英雄のように
喜びにみちて、進みなさい

(構成・訳：都築正道)

ベートーヴェンの《交響曲第九番》のお話

《第九》ってなに？

《第九》(だいく)とは、ベートーヴェンが書いた9番目の交響曲のことです。《第九交響曲》は彼の最後の交響曲であり、また、音楽史上、最高の交響曲です。なぜ最高かといえば、この交響曲の中で、私たちにとって最も大切な「お互いに許し合い愛し合うことの素晴らしさ」を讃えたドイツの詩人フリードリヒ・シラーの詩『喜びの歌』の一部が、4人の男女の独唱者と大合唱によって高らかに歌われるからです。これほどたくさんの人たちが、これほど大きな声と音で、これほど感動的な思いを歌った音楽はないでしょう。ベートーヴェンは、「私の音楽は心から心へ伝わって欲しい」といっています。《第九》は、そんな彼の心を語るものでもあります。

ベートーヴェンの《第九》の心ってなに？

終楽章でオーケストラだけによる長い序奏のあと、シラーの詩が歌いだされる前に、バリトンのソロがまるで宣言文を読むように次の言葉を歌います——「ああ、私の友人たちよ、このような調べではないのだ！私たちをもっと楽しくさせ、そして喜びにみちた調べを歌おうではないか！」。これは、ベートーヴェン自身の言葉です。「このような調べ」とは、この交響曲で、最初からこれまで演奏されてきた音楽をいいます。すなわち、第1楽章から第3楽章までの音楽すべてをいうのです。第1楽章は「争いと死」を、第2楽章は「不真面目さ」を、第3楽章は「宗教や思想に対する従順さ」を現しています。第4楽章で、これまでの全3楽章の調べが少しづつ姿を現しますが、どれもみんなチェロとコントラバスの低い弦楽器によって否定されてしまいます。そ

してこの低音弦が、あらためて「これこそ、私たちの歌だ」として紹介するのがおなじみの「喜びの歌」なのです。この調べは、最初は一部の低音弦だけによって演奏されるだけなのですが、しだいに賛同する仲間を増やしていき、ほかの弦楽器や木管楽器や金管楽器、最後には全オーケストラによって堂々と演奏されるのです。しかし、楽器だけのオーケストラ演奏では、実際にはなにを主張したいのか正確には分かりません。それでベートーヴェンは、彼と意思を同じくする同時代人のシラー(1759-1805)の詩をここへ持ってきたのです。

「シラーの詩」ってなに？

それは、「喜びは神々の火花だ。楽園の娘だ。喜びの翼が優しく広がるところで、すべての人々は兄弟となる」で始まる、ドイツ語で書かれた全8節の詩『喜びの歌』です。もともと、人間の心はそれぞれ別々であり、一つになることはありません。もしあるとするならば、みんながこぞ喜びに燃えたときです。「子供が生まれた」「市制50周年を迎えた」「『第九』のステージに初めて立った」「地球上から天然痘が絶滅した」「イスラエルとパレスチナが和平交渉を始めた」——この歓喜の瞬間に、私たち家族が、私たち市民が、私たち友人が、私たち人類が、みんなで肩を抱きあって喜ぶとき、私たちの心は一つになるのです。そこは、裏切りも憎しみも嫉妬もない世界であり、お互いがいわり助け合う愛の世界です。ベートーヴェンは、このシラーの詩から人類愛を力強く訴えた詩句を自由に選んで並べかえ、彼の最後の交響曲の最後の楽章で多くの人に歌わせることによって、後生の私たちへの思いを「最後のメッセージ」として残したのです。

作曲年代	1817年-1824年2月
初演	1824年5月7日 ウィーン市内ケルントナートール劇場
献呈	プロシヤ王フリードリヒ・ヴィルヘルム3世
出版	1826年6月 マインツ市ショット社。総譜・管弦楽合唱パート譜・終楽章ピアノ版総譜出版
楽器編成	fl. ob. cl. fg. (第4楽章でコントラ・ファゴットが加わる)、trp. (第2・第4楽章にはトロンボン3が加わる) 以上各2、hrn.4. tim. (第4楽章にはトライアングル、シンバル、大太鼓が加わる)、弦5部。ソプラノ、アルト、テナー、バリトンの各ソロ、混声合唱

(都築正道)

指揮者



石丸 寛 (いしまる ひろし)

1922 中国青島(チンタオ)生まれ。
1944 文化学院大学芸術科卒。美術を今泉篤男・脇田和・岡鹿之助各氏に、管弦楽法と指揮法を山田一雄氏に師事。
1953 九州交響楽団を創立。初代常任指揮者を務める。
1954 東京交響楽団を日比谷公会堂において指揮し、楽壇にデビュー。
この年、カラヤン初来日の際、NHK交響楽団において同氏のレッスンを受ける。
1955以降 N響、日フィル、読響、東フィル、大阪フィル、名古屋フィルなど各地の交響楽団を指揮、コンサート、レコーディング、放送などに活躍。
1974以降 ヨーロッパ各国や中国北京などにおける演奏で好評を博す。
青少年のためのオーケストラ鑑賞、地方交響楽団の育成、音楽文化の普及、発展に情熱的に取り組んで活動をつづけているが、一方では美術を愛し、学生時代から国展(国画会)に連続入選し、現在も東京、福岡、静岡などで個展を開いている。著書に『それゆけオーケストラ!』(中公文庫)『棒ふりラプソディ』(音楽之友社)など。
東京交響楽団評議員、文化庁国民文化祭企画委員及び実行委員、玉川大学客員教授。

ソリスト

ソプラノ



宇佐美瑠璃 (うさみり)

東京芸術大学卒業。同大学院ソロ科終了。文化庁オペラ研修所第三期生終了。海外で「蝶々夫人」「トスカ」などの主役を歌いオペラ歌手として活躍中。この7月にも「ワカヒメ」のタイトロールを歌い好評を博し卓抜な歌唱力と独特の魅力でいま最も注目を集めている人気ソプラノ歌手。

アルト



郡 愛子 (こおりあいこ)

桐朋学園大学研究科終了。藤原歌劇団公演《愛の妙薬》でデビュー。「ジロー・オペラ賞」連続受賞、「昭和62年度文化庁芸術祭賞」受賞など、数々の賞に輝く実力派。小沢征爾指揮の《マノン・レスコー》《さまよえるオランダ人》などの正統的な歌劇のほかにも、「女神の歌声」と絶賛される豊かで甘美な声はCMソングでも有名。

テノール



福井 敬 (ふくいけい)

国立音楽大学声楽科を矢田部賞を受賞して卒業。同大学院オペラコース終了。二期会終了時にも優秀賞と川崎静子賞を同時受賞。イタリアミラノへ留学。イタリア音楽コンクールにて第一位ミラノ賞・ジローオペラ賞の新人賞。20に余る多くのオペラや「第九」コンサートなどに出演。今年度第4回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。美しいベルカントと劇的な歌唱法とで豊富なレパートリーを持つ。

バリトン



クラウス オッカー

1923年ドイツに生まれる。'52年ジュネーブの国際音楽コンクールで銀メダルを獲得。それ以後はコンサート歌手としてヨーロッパ各国で演奏活動や録音活動を行い、オラトリオやドイツ歌曲をピアノ伴奏やオーケストラと共演する。'70年、ブレーメン音楽学校で教鞭をとる。'75年にはハンブルク音楽大学で教授に就任。'87年、カリフォルニアのサンホセ州立大学、'90年、中国北京大学の客員教授となる。ドイツ、ヨーロッパ各地のラジオ放送に多数参加。最近まで愛知県立芸術大学客員教授を務めた。

音楽監督

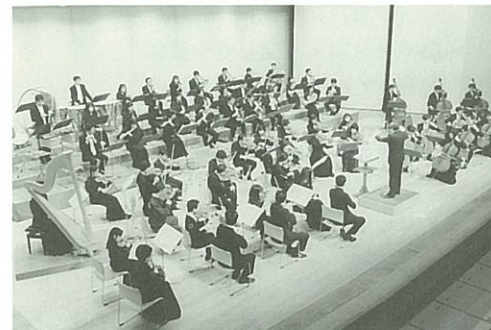


都築正道 (つづきまさみち)

名古屋市生まれ、名古屋大学文学部美学科卒。文博。指揮を横井園生氏に、作曲を熊谷賢一氏に、声楽を故山田昌弘氏に師事。朝日新聞音楽評担当。イタリアの国際コンクールの審査員などを務める。現在、中部大学女子短期大学教授。春日井市交響楽団音楽監督。

管弦楽

春日井市交響楽団



第2回定期演奏会

平成2年10月 市内のアマチュアを中心として結成
平成3年1月 創立記念演奏会開催
平成4年1月 第1回定期演奏会開催
平成4年9月 第九プレ・コンサートに出演
平成5年1月 第2回定期演奏会開催
平成5年2月 「第九演奏会」一般参加者募集。130名のメンバーで本日にのぞむ。

合唱

Xmasの夕べ第九合唱団



第九・プレコンサート

平成4年7月 市制施行50周年記念行事「Xmasの夕べ」で、第九を歌うことを目的として結成
平成4年9月 第九プレ・コンサートに出演
平成5年2月 「第九演奏会」参加者募集。
平成5年4月 「第九」の練習をはじめ。毎週土曜日夜の練習を経て、約500名のメンバーで、本日にのぞむ。

トレーナー

オーケストラ



アントニーン キューネル

1941年チェコスロバキアのブラハ生まれ。ブラハ・コンセルヴァトワール、ブラハ・アカデミーで指揮法と打楽器を学ぶ。1973年武蔵野音楽大学の客員教授として来日、管弦楽、吹奏楽、室内楽等数々の演奏会を成功させた。1976年新星交響楽団の指揮者となるなど、オーケストラやブラスバンドの指揮や指導や作曲でも活躍中。現在、大阪教育大学客員教授。

合唱指導

合唱



吉川 朗 (よしかわあきら)

愛知教育大学音楽科卒業。同大学院(作曲)修了。あけぼの合唱団、豊田ひまわりコーラス、大高北PTAコーラスを始め、名古屋オペラ協会、愛知県文化振興事業団などのオペラの正指揮、副指揮を務める。名古屋シティ管弦楽団や一宮の「第九」の合唱指導にあたっている。名古屋芸術大学音楽部オペラ研究室実技補助員。

合唱



水谷 朋子 (みずたともこ)

名古屋音楽大学声楽科卒業。1989年フランス革命200年記念演奏のため渡仏。第8回新・波の会日本歌曲コンクール第2位(東京)。第4回日本の歌コンクール歌曲部門銀賞(大阪)。多くの合唱団の指揮や指導にあたっている。ベートーヴェン「第九」等にも出演。昨年、春日井第九プレ・コンサートにソリストとして出演。

合唱



鈴木 まみ (すずきまみ)

大阪にて、上島力、練木英子各氏に師事。武庫川女子大音楽学部声楽科で学んだ後東京にて、城多又兵衛、戸田敏子、三池三郎各氏に師事。コンサート等で活躍中、現在、女声合唱団ラ・ムーサ、アンサンブル円(まどか)、ヴォーチェ・L(エル)の指導にあたる。

ピアノ伴奏・平田 和恵・竹内 理恵・市場 理恵

《春日井の第九》音楽監督

都 築 正 道

これほど恵まれた《第九》はないでしょう

熱心で歌好きでお互いを思いやる500人の合唱団のみなさんがいる

吉川朗・鈴木まみ・水谷朋子の三人の素晴らしい指導者の先生方

荒川昭代団長を始めとする実行力ある役員のみなさんがいる

歴史的な《第九》春日井初演を楽しみにしているたくさんの方がいる

なによりも《第九》演奏会を愛する市の担当者のみなさんがいる

いつも笑顔の指揮者の石丸寛先生がいる

個性的な優れたソリストのみなさんがいる

オペラで活躍の宇佐美瑠璃さんの華やかさ

第九のベテラン郡(こおり)愛子さんの女神の声

期待の若手テノール福井敬さんはすでにしてベテラン

愉快なクラウス・オッカーさんは《冬の旅》で春日井のみなさんにはおなじみ

難曲《第九》に初めて挑戦する市民オケ「カポ」がいる

「鬼のアントン」ことアントニーン・キューネル先生のご指導で自信が生まれた

団長の花村浩克さんもいつの間にかクラリネットの腕をあげた

岩田徹コンサート・マスターは後ろを見ながらヴァイオリンを奏く

「アンコールだけでもみなさんと一緒に歌いたい」と夢見る鶴飼一郎市長がいる

「それなら私達も一緒に歌いましょう」と実行委員のみなさん

三浦昌夫事務局長と補佐の高木秀明さんの見事なコンビは類を見ません

スタンド設営も会場設備も華やかな照明も録音もそのすべてを支えて下さるプロがいる

舞台の進行と会場のお世話をするのは音楽を愛する多くの学生たち

おなじみ日比英一アナウンサーが流暢に総合司会をつとめます

「《第九》はどうすれば成功するのですか」と訊ねられたら

みなさんは「春日井をご覧なさい」とお答えになればいいのです

平成4年		平成5年	
4月	「Xmasの夕べ」会議 (4/14)	6月	「フロイデ」第4号発行 (6/19)
5月	第1回「Xmasの夕べ」実行委員会 (5/30)		春日井市交響楽団練習日 (6/6,6/13,6/27)
6月	「第九」を歌う合唱団員募集、新聞各紙に掲載 (6/20)		第九合唱団練習日 (6/5,6/12,6/19,6/26)
7月	「Xmasの夕べ」第九合唱団説明会・総会 (7/12)	7月	「フロイデ」第5号発行 (7/10)
	第2回「Xmasの夕べ」実行委員会 (7/18)		春日井市交響楽団練習日 (7/4,7/11,7/18)
8月	第九プレコンサート練習〔春日井市交響楽団、合唱団〕		第九合唱団練習日(7/3,7/10,7/17,7/24,7/31)
9月	第九プレコンサート開催〔春日井市民会館〕 (9/12)	8月	春日井市交響楽団練習日 (8/8)
	第3回「Xmasの夕べ」実行委員会(11/10)		第九合唱団練習日 (8/7,8/21,8/28)
平成5年	第九演奏会出演者募集 [広報かすがい 2月1日号]		「フロイデ」第6号発行〔合唱団名簿特集号〕 (8/28)
2月	募集チラシ配布・ポスター掲示	9月	ソリスト決定 (9/18)
	合唱団機関紙「フロイデ」第1号発行 (2/1)		石丸氏春日井交響楽団初練習 (9/19)
	合唱団募集締め切り (2/13)		春日井市交響楽団練習日 (9/5,9/12,9/19)
	オーケストラ参加者募集締め切り (2/28)		第九合唱団練習日 (9/4,9/11,9/18,9/25)
	春日井市交響楽団練習開始 (練習日 2/6,2/14,2/28)		「フロイデ」第7号発行 (9/25)
3月	「第九演奏会」合唱団結団式・総会 (3/13)	10月	クラウスオッカー(バリトン ソリスト)の合唱団レッスン (10/16)
	オーケストラ出演希望者(一般参加者)オーディション		第5回「Xmasの夕べ」実行委員会 (10/18)
	春日井市交響楽団練習日 (3/7,3/14,2/28)		石丸氏合唱団初練習 (10/23)
4月	「フロイデ」第2号発行 (4/1)		春日井市交響楽団練習日 (10/17,10/24,10/31)
	合唱団練習開始 (4/3)		第九合唱団練習日 (10/2,10/9,10/16,10/23,10/31)
	春日井市交響楽団、一般参加者合同練習開始 (4/4)		「フロイデ」第8号発行 (10/31)
	春日井市交響楽団練習日 (4/4,4/11,4/18)	11月	実施要項発表〔広報かすがい 11月1日号〕
	第九合唱団練習日 (4/3,4/10,4/17,4/24)		市内各機関にチラシ・入場整理券配布、ポスター掲示
	第4回「Xmasの夕べ」実行委員会 (4/20)		春日井市交響楽団練習日 (11/14,11/23,11/28)
5月	「フロイデ」第3号発行 (5/12)		第九合唱団練習日 (11/6,11/13,11/20,11/23,11/27)
	都築正道音楽監督講演会〔市民会館〕(5/15)	12月	リハーサル(オーケストラ、合唱団、ソリスト合同練習)〔春日井市総合体育館〕 (12/4)
	春日井市交響楽団練習日 (5/9,5/23,5/30)		春日井第九演奏会 (12/5)
	第九合唱団練習日(5/1,5/8,5/15,5/22,5/29)		

『Xmasの夕べ』実行委員会

会 長	春日井市長	鶴 飼 一 郎
委 員	春日井市教育長	大 野 昱 郎
	春日井市交響楽団理事長	長 縄 功
	中部大学女子短期大学教授	都 築 正 道
	春日井市民音楽連盟会長	平 手 郁 男
事務局長	中部大学学監	三 浦 昌 夫
監 事	合唱団代表	荒 川 昭 代
事 務 局		中 部 大 学

みんなで歌おう、春日井賛歌を…

< 歓喜の歌 >

作詩 ● なかにし礼



1. 愛こそ歓喜にみちびく光
 さえぎる苦難を越えて進まん
 歓喜の頂いただき踏みしめた時
 我らは兄弟世界は一つ
 歓喜の頂いただき踏みしめた時
 我らは兄弟世界は一つ

2. 気高き乙女を勝ち得たものよ
 手を取り歓呼の叫びをあげよ
 人間一人で何が出来よう
 愛なき孤独の人は立ち去れ
 人間一人で何が出来よう
 愛なき孤独の人は立ち去れ